作成年月日：令和　6　年　4　月　3　日

総合工科高等学校 令和６年度 １学年 年間授業計画

教科　保健体育	科目　保　健	単位数　１単位	対象学年組　第１学年１組 ～5 組	
組教科担当	１組　作山	２組　益子	３組　益子	４組　益子	５組　益子
使用教科書	保体 702　新高等保健体育（大修館）			
教科の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。			

【 知識及び技能 】	(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	(2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	(3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技術を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目･内容	評価規準	知	思	学	配当時間
1学期	第１章　現代社会と健康について ●健康の考え方 【知】国民の健康課題について、各種の指標や疾病構造の変化を通じて理解できるようにする。また、健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて理解できるようにする。 【思】国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理できるようにする。 【学】「健康について」や「意思決定・行動選択」などの課題に取り組む姿勢（対話的な学習に積極的に参加している）	●指導事項 健康の考え方 ・日本における健康課題の変遷 ・健康の考え方と成り立ち ・ヘルスプロモーションと 健康にかかわる環境づくり ・健康について （人のつながりと 健康について考えてみよう） ・健康に関する意思決定・行動選択 ・意思決定と行動選択を実践しよう	・国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。 ・健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定・行動選択及び環境づくりが関わること。 プリント提出 小テスト 授業観察 期末テスト 「健康について」 「意思決定・行動選択」の課題に対して ・ペアワーク ・ブレインストーミング ・グループディスカッション ・ジグソー法 ・ロールプレイング などから学習方法を選択 （取り組む方・姿勢・態度を評価）	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	6
	●現代の感染症とその予防 【知】感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解できるようにする。感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であることを理解できるようにする。 【思】感染症の発生や流行には時代や地域によって違いが見られることについて、事例を通じて整理	●指導事項 現代の感染症とその予防 ・現代社会における感染症の問題 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防 ・リスクとは何かを知り リスクにどう向き合うか考えてみよう	・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いが見られること。 ・感染症の予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があること。 プリント提出 小テスト 授業観察 期末テスト 「リスクとは何かを知り、リスクにどう向き合うか」の課題に対して ・ペアワーク ・ブレインストーミング ・グループディスカッション ・ジグソー法	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○	4

	し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用すること。 【学】「リスクとは何かを知りリスクにどう向き合うか」などの課題に取り組む姿勢（対話的な学習に積極的に参加している）		・ロールプレイング などから学習方法を選択 （取り組む方・姿勢・態度を評価）				
	●生活習慣病の予防と回復１ 【知】がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、生活習慣病のリスクを軽減し予防するには調和のとれた生活を続けることが必要であること。生活習慣病の予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。 【思】生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理する。 【学】「生活習慣病の予防と回復」や「身体活動と健康」などの課題に取り組む姿勢（対話的な学習に積極的に参加している）	●指導事項 生活習慣病の予防と回復１ ・生活習慣病の予防と回復 ・身体活動と健康	・生活習慣病のリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けること。定期的な健康診断を受診することが必要であることを理解できるようにする。また、生活習慣病などの予防と回復は、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であること。 プリント提出 小テスト 授業観察 期末テスト	○ ○	○	○	2
	１学期期末考査（授業内テスト）			○	○	○	1
2学期	●生活習慣病の予防と回復２ 【知】生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、調和のとれた健康的な生活を続けること。また、がんについては、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣病のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることを理解できるようにする。がんの回復においては、手術療法、化学療法、放射線療法などの治療法があること、患者や周囲の人々の生活の質を保つことや緩和ケアが重要であることについて敵宣触れるようにする。 【思】生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理する。 【学】「食事、休養・睡眠と健康」や「がんの予防と回復」などの課題に取り組む姿勢（対話的な学習に積極的に参加している）	●指導事項 生活習慣病の予防と回復２ ・食事と健康 ・エネルギー収支と 体重管理について考えてみよう ・休養・睡眠と健康 ・がんの予防と回復 ・がんと社会について考えてみよう	・生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けること。定期的な健康診断を受診することが必要であることを理解できるようにする。また、生活習慣病などの予防と回復は、個人の取組とともに、正しい情報の発信など社会的な対尾策が必要であることを理解できようにする。 プリント提出 小テスト 授業観察 期末テスト 「ネルギー収支と体重管理について」 「がんと社会について」の課題に対して ・ペアワーク ・ブレインストーミング ・グループディスカッション ・ジグソー法 ・ロールプレイング などから学習方法を選択 （取り組む方・姿勢・態度を評価）	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	5

	●喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 【知】喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解できるようにする。薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることを理解できるようにする。 【思】喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価すること。 【学】「たばこ対策について」の課題に取り組む姿勢（対話的な学習に積極的に参加している）	●指導事項 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・喫煙と健康 ・たばこ対策について考えてみよう ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康	・喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因となること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはいけないこと。喫煙、飲酒、薬物乱用の対策には、個人や社会環境への対策が必要であること。 プリント提出 小テスト 授業観察 期末テスト 「たばこ対策について」の課題に対して ・ペアワーク ・ブレインストーミング ・グループディスカッション ・ジグソー法 ・ロールプレイング などから学習方法を選択 （取り組む方・姿勢・態度を評価）	○ ○ ○	○ ○	○ ○	4
	●精神疾患の予防と回復 【知】精神疾患は精神機能の基盤となる心理的、生物的、社会的な機能障害が原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることを理解できるようにする。精神疾患の予防と回復は、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起きた反応はリラクセーションなどの方法でストレスを緩和することなどが重要であることを理解できるようにする。 【思】精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理すること。 【学】「精神疾患の特徴」や「精神疾患への対応」などの課題に取り組む姿勢（対話的な学習に積極的に参加している）	●指導事項 精神疾患の予防と回復 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患への対応 ・精神疾患をもっても 安心して暮らせる社会を目指そう	・生活習慣病のリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けること。定期的な健康診断を受診することが必要であることを理解できるようにする。また、生活習慣病などの予防と回復は、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であること。 プリント提出 小テスト 授業観察 期末テスト 「精神疾患をもっても安心して暮らせる 社会を目指そう」の課題に対して ・ペアワーク ・ブレインストーミング ・グループディスカッション ・ジグソー法 ・ロールプレイング などから学習方法を選択 （取り組む方・姿勢・態度を評価）	○ ○ ○	○ ○ ○	○	3
	２学期期末考査（授業内テスト）			○	○	○	1

3学期	第２章　安全な社会生活 ●安全な社会づくり 【知】事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設、設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることを理解できるようにする 　交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること 　安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動の個人の取組、地域の連携などが必要であることを理解できるようにする。 【思】安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、障害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを理解することが出来るようにする。 太陽や星の天球上の日周運動･年周運動を，地球の自転運動と公転運動から理解させる。 ・太陽の天球上の運行や月の満ち欠けの周期性が時や暦などと関係することを理解させる。	●指導事項 安全な社会づくり ・事故の現状と発生要因 ・交通事故防止の取り組み ・安全な社会の形成 ・風水害を想定した 　　タイムラインを作成しよう	・安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じること。 プリント提出 小テスト 授業観察 期末テスト 「風水害を想定したタイムラインを 　　作成しよう」の課題に対して ・ペアワーク ・ブレインストーミング ・グループディスカッション ・ジグソー法 ・ロールプレイング 　　などから学習方法を選択 （取り組む方・姿勢・態度を評価）	○ ○ ○ ○	○ ○	○	4
	●応急手当 【知】適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、疾病者の苦痛を緩和したりすることを理解できるようにする。 　日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通じて理解し、応急手当ができるようにする 【思】応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる障害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用すること。安全な社会生活について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明すること。	●指導事項 応急手当 ・応急手当の意義と救急医療体制 ・心肺蘇生法 ・日常的な応急手当 ・いざという時に備えて、 　　知識と技術を身に付けよう	・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があること プリント提出 小テスト 授業観察 期末テスト 「いざという時に備えて、知識と技術を 　　身に付けよう」の課題に対して ・ペアワーク ・ブレインストーミング ・グループディスカッション ・ジグソー法 ・ロールプレイング 　　などから学習方法を選択 （取り組む方・姿勢・態度を評価）	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○	4
	３学期期末考査（授業内テスト）			○	○	○	1

作成年月日：令和　6　　年　4　　月　3　　日

総合工科高等学校 令和６年度 １学年 年間授業計画

教科　保健体育	科目　体育	単位数　２単位	対象学年組　第１学年　１ 組 ～　５組		
組教科担当	１組　作山・島村	２組　作山・坂尾・島村	３組　作山・坂尾・島村	４組　作山・坂尾・島村	５組　作山・坂尾・島村
使用教科書	保体７０２　新高等保健体育(大修館)				
教科の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次の通り育成することを目指す。				

【 知識及び技能 】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目･内容	評価規準	知	思	学	配当時間
1学期	A 体つくり運動 【知】体を動かす楽しさや心地よさを味わい、実生活に役立てることができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】体つくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすることができる。	・指導事項 ラジオ体操　筋力トレーニング　柔軟体操 体力テスト ・教材 学習カード　評価表	・体を動かすことに興味を持ち、ボディイメージを持ちながらラジオ体操に主体的に取り組むことができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・仲間のラジオ体操を見て、客観的に評価することができる。 ・体力テストに主体的に取り組むことができる。また仲間と協力して、体力テストの準備や片付け、測定をすることができる。	○ ○	 ○ ○ 	○ ○	7
	中間考査						
	B 水泳 【知】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】水泳に主体的に取り組むとともにルールやマナーを大切にしようとすること、水泳の事故防止に関する心得を順守するなど健康・安全を確保することができる。	・指導事項 クロールタイム測定　平泳ぎタイム測定 初級・中級・上級に分かれて技術指導を行う。 水泳の事故防止について	・タイム測定を通して、自己の記録への挑戦ややや仲間との競争を楽しむことができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・水泳の事故防止について理解し、安全を確保しながら主体的に取り組むことができる。	○ ○	 ○ 	○ ○	6
	期末考査						
2学期	B 水泳						3

C　バスケットボール 【知】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】球技に主体的に取り組むとともに、フェアプなレイを大切にしようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることができる。	・指導事項 パス（２メン）　ドリブル　シュート（ドリブルシュート　バンクシュート） ゲーム　スキルテスト ・教材 学習カード	・状況に応じたボール操作ができるようになる。 ・スキルテストを仲間と協力して進めることができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・バスケットボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○	4
D 柔道 【知】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすることができる。	・指導事項 受け身（前受け身　横受け身　後ろ受け身　前回り受け身） 投げ技（体落とし）　腰技（大腰） 足技（膝車　大外刈り　大内刈り　小内狩り） 固め技（袈裟固め　横四方固め　上四方固め） ・教材 学習カード	・相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技を用いて相手を投げたり抑えたりすることができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・柔道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などを大切にすることができる。 ・安全に留意して活動できる。	○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	4
E 縄跳び 【知】技がよりよくできたり自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】なわとびに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすることができる。	・指導事項 一回旋技　二回戦技　大縄跳び　ダブルダッチ ・教材 学習カード	・技の名称や行い方を理解し、自己に適した技で演技することができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・縄跳びに主体的に取り組むとともに、課題や挑戦することを大切にしようとすることができる。	○ ○	 ○ 	○ ○	4
F ダンス 【知】感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】ダンスに主体的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとすることができる。	・指導事項 創作ダンス ・教材 学習カード ・一人１台端末の活用など	・感じを込めて踊ったり、自由に踊ったりすることで楽しさや喜びを味わうことができる。 ・リズムの特徴をとらえて全身で弾んで踊ることができる。 ・自己や仲間の課題を発見し、それを他者に伝えられえる。 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、課題や挑戦を大切にしようとすることができる。	○ ○ ○	 ○ 	○ ○	4
中間考査						
C バスケットボール						5
D　柔道						5

	E　縄跳び						5
	F　ダンス						5
	H 体育理論 【知】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。 【思】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えられるようになる。 【学】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 1　スポーツの発祥と成立 2　スポーツ文化の発展と社会 3　オリンピック・パラリンピックと国際社会 ・教材 新高等保健体育　新高等保健体育ノートプリント ・一人１台端末の活用など	・スポーツがどのように始まり、どのように発展してきたか、理解できる。 ・2024 年パリオリンピック、パラリンピックについて、主体的に取り組み、仲間と協力して調べ学習をすることができる。	○	○	○	3
	期末考査						
3学期	I 持久走 【知】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられるようになる。 【学】長距離走に主体的に取り組むとともにルールやマナーを大切にしようとすること、健康・安全を確保することができるようになる。	・指導事項 550m＊９周のタイム測定	・自分のペースをつかみ、極端なスピード変化をすることなく走り続けることができる。 ・自己の走り方や仲間の走り方を客観的に判断し、課題を他者に伝えることができる。 ・長距離走に主体的に取り組むとともに、健康・安全に留意して参加することができる。	○ ○	○	○	6
	J 球技 【知】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】球技に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることができる。	・指導事項 選択種目（サッカー・バレーボール・バスケットボール）	・ゲームの方法を理解し、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 ・チームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けての取り組み方を工夫することができる。 ・主体的に取り組み、準備からゲームの進行、片付けまで仲間と協力して行うことができる。	○ ○ ○	○	○ ○	6
	H 体育理論 【知】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。 【思】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えられるようになる。 【学】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 4　スポーツの経済効果とスポーツ産業 5　スポーツに求められる高潔さ 6　ドーピングについて ・教材 新高等保健体育　新高等保健体育ノートプリント ・一人１台端末の活用など	・スポーツが経済に及ぼす影響やスポーツ産業における様々な職業を理解することができる。 ・スポーツの価値や役割、スポーツの高潔性を破壊しかねない問題について理解できる。 ・ドーピングがなぜいけないのか、ドーピング技術がさらに高まるとどんな悪影響があるか、仲間と考えることができる。 ・主体的にグループワークに参加し、自分の考えを仲間に伝えることができる。	○ ○ ○	○ ○	○ ○	3

	学年末考査						

作成年月日：令和　6　　年　4　　月　3　　日

総合工科高等学校 令和６年度 ２学年 年間授業計画

教科　保健体育	科目　保　健		単位数　１単位	対象学年組　第２学年１組 ～5 組	
組教科担当	１組　島村	２組　島村	３組　島村	４組　坂尾	５組　島村
使用教科書	保体 702　新高等保健体育（大修館）				
教科の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。				

【 知識及び技能 】	(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに，技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技術を身に付けるようにする。	生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し，疾病等のリスクの軽減，生活の質の向上，健康を支える環境づくりなどと，解決方法を関連付けて考え，適切な方法を選択し，それらを説明することができるようにする。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目･内容	評価規準	知	思	学	配当時間
1学期	第３章　生涯を通じる健康について 【知】思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面，心理面，行動面などの変化に関わり，健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。 【思】習得した知識を基に，心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために，性に関わる情報を適切に整理することができるようになる。 【学】思春期の課題について解決しようと主体的に取り組もうとすることができる。	指導事項 1　思春期と健康 2　性意識の変化と性行動の選択	・習得した知識をもとに、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること，及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できる。 ・自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。	○ ○	○ ○	○ ○	3
	第３章　生涯を通じる健康について 【知】結婚生活について，心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。また家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解できるようにする。 【思】習得した知識を基に，結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて，保健・医療サービスの活用方法を整理すること。 【学】結婚や妊娠、出産においての課題について、解決しようと主体的に取り組もうとすることができる。	指導事項 3　結婚生活と健康 4　妊娠・出産と健康 5　家族計画	・結婚生活や妊娠･出産などについて，心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。 ・自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。	○ ○	○ ○	○	5
	第３章　生涯を通じる健康について 【知】中高年期を健やかに過ごすためには，若いときから，健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと，生きがいをもつこと，運動やスポーツに取り組むこと，家族や友人などとの良好な関係を保つことを理解できるようにする。 【思】習得した知識を基に，中高年期の疾病や事故のリスク軽減のた	指導事項 6　加齢と健康 7　高齢社会に対応した取り組み	・中高年期を健やかに過ごすためには，若いときから，健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと，生きがいをもつこと，運動やスポーツに取り組むこと，家族や友人などとの良好な関係を保つこと，地域における交流をもつことなどが関係することについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記	○ ○	○ ○	○ ○	4

	めの個人の取組と社会的対策を評価すること。 【学】中高年期においての課題について、解決しようと主体的に取り組もうとすることができる。		述したりして，筋道を立てて説明している。				
	1学期期末考査（授業内テスト）			○	○	○	1
2学期	第３章　生涯を通じる健康について 【知】労働による傷害や職業病などの労働災害は，作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことを理解できるようにする。 【思】習得した知識を基に，労働災害の防止に向けて，個人の取組と社会的対策の整理や、生活の質の向上を図ることと関連付けて，課題解決の方法に応用することができるようになる。 【学】労働災害と健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	指導事項 8　働くことと健康 9　労働災害の防止 10 働く人の健康づくり	・労働と健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・労働と健康について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。	○ ○	○ ○	○	5
	第４章　健康を支える環境づくり 【知】人間の生活や産業活動は，大気汚染，水質汚濁，土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし，健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解できるようにする。 【思】人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について，事例を通して整理し，疾病等のリスクを軽減するために，環境汚染の防止や改善の方策に応用すること。 【学】環境と健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	指導事項 1　大気汚染と健康 2　水質汚濁・土壌汚染と健康 3　健康被害を防ぐための環境対策 4　環境衛生に関わる活動	・人間の生活や産業活動は，大気汚染，水質汚濁，土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし，健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・環境と健康について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。	○ ○	○ ○	○	6
	第４章　健康を支える環境づくり 【知】人々の健康を支えるためには，食品の安全性を確保することが重要であり，食品の安全性が損なわれると，健康に深刻な被害をもたらすことがあり，食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて理解できるようにする。 【思】食品の安全性と食品衛生に関わる活動について，習得した知識を自他の日常生活に適用して，健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てることができる。 【学】食品と健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	指導事項 5　食品の安全性と健康 6　食品の安全性を確保する取り組み	・食品と健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・食品と健康について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。	○ ○	○ ○	○	4
	２学期期末考査（授業内テスト）			○	○	○	1

3学期	第４章　健康を支える環境づくり 【知】我が国には，行政及びその他の機関などから健康に関する情報，医療の供給，医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて理解できるようにする。 疾病からの回復や悪化の防止には，個々の医薬品の特性を理解した上で，使用法に関する注意を守り，正しく使うことが必要であることについて理解できるようにする。 【思】保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 医薬品の制度とその活用について，医薬品には承認制度があり，販売に規制が設けられていることと関連付けながら，生活の質の向上のために利用の仕方を整理できるようになる。 【学】保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	指導事項 7　保健制度とその活用 8　医療制度とその活用 9　医薬品の制度とその活用	・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 ・医薬品の制度とその活用について，医薬品には承認制度があり，販売に規制が設けられていることと関連付けながら，生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。	○ ○ ○	○ ○	○ ○	5
	３学期期末考査（授業内テスト）			○	○	○	1

作成年月日：令和　6　　年　4　　月　3　　日

総合工科高等学校 令和６年度 ２学年 年間授業計画

教科　保健体育	科目　体育	単位数　２単位	対象学年組　第２学年　１ 組 ～　５組		
組教科担当	１組　益子・島村	２組　益子・作山・島村	３組　益子・作山・島村	４組　益子・作山・島村	５組　益子・作山・島村
使用教科書	保体７０２　新高等保健体育(大修館)				
教科の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次の通り育成することを目指す。				

【 知識及び技能 】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目･内容	評価規準	知	思	学	配当時間
1学期	A 体つくり運動 【知】体を動かす楽しさや心地よさを味わい、実生活に役立てることができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】体つくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすることができる。	・指導事項 ラジオ体操　筋力トレーニング　柔軟体操 体力テスト ・教材 学習カード　評価表	・体を動かすことに興味を持ち、ボディイメージを持ちながらラジオ体操に主体的に取り組むことができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・体力テストに主体的に取り組むことができる。また仲間と協力して、体力テストの準備や片付け、測定をすることができる。	○ ○	○	○ ○	7
	中間考査						
	B 水泳 【知】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】水泳に主体的に取り組むとともにルールやマナーを大切にしようとすること、水泳の事故防止に関する心得を順守するなど健康・安全を確保することができる。	・指導事項 背泳ぎタイム測定　バタフライタイム測定 初級・中級・上級に分かれて技術指導を行う。 水泳の事故防止について	・タイム測定を通して、自己の記録への挑戦ややや仲間との競争を楽しむことができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・水泳の事故防止について理解し、安全を確保しながら主体的に取り組むことができる。	○ ○	○	○ ○	6
	期末考査						
2学期	B 水泳						3

C　バレーボール 【知】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】球技に主体的に取り組むとともに、フェアプなレイを大切にしようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることができる。	・指導事項 パス（オーバーパス　アンダーパス） サーブ　レシーブ ゲーム　スキルテスト ・教材 学習カード	・状況に応じたボール操作ができるようになる。 ・スキルテストを仲間と協力して進めることができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・バレーボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○	4
D 柔道 【知】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすることができる。	・指導事項 受け身（前受け身　横受け身　後ろ受け身　前回り受け身） 投げ技（体落とし）　腰技（大腰） 足技（膝車　大外刈り　大内刈り　小内狩り） 固め技（袈裟固め　横四方固め　上四方固め） ・教材 学習カード	・相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技を用いて相手を投げたり抑えたりすることができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・柔道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などを大切にすることができる。 ・安全に留意して活動できる。	○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	4
E バドミントン 【知】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって、空いた場所をめぐる攻防をすることできるようになるなど、多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学】バドミントンに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすることができる。	・指導事項 ストローク（オーバーハンドストローク・アンダーハンドストローク） ハイクリアー・ドライブ・ドロップ サーブ　シングルスゲーム ・教材 学習カード	・相手の特徴に応じた作戦を立てて勝敗を競う楽しさや喜びを深く味わえるようことができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・バドミントンに主体的に取り組むとともに、課題や挑戦することを大切にしようとすることができる。	○ ○	 ○ 	○ ○	4
F テニス 【知】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって、空いた場所をめぐる攻防をすることできるようになるなど、多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学】テニスに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすることができる。	・指導事項 ストローク（フォアハンドストローク・バックハンドストローク） サーブ　シングルス簡易ゲーム ・教材 学習カード	・相手の特徴に応じた作戦を立てて勝敗を競う楽しさや喜びを深く味わえるようことができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・テニスに主体的に取り組むとともに、課題や挑戦することを大切にしようとすることができる。	○ ○	 ○ 	○ ○	4
中間考査						

	C バスケットボール						5
	D 柔道						5
	G　卓球 【知】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって、空いた場所をめぐる攻防をすることできるようになるなど、多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学】卓球に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすることができる。	・指導事項 ストローク（フォアハンドストローク・バックハンドストローク） サーブ　シングルスゲーム ・教材 学習カード	・相手の特徴に応じた作戦を立てて勝敗を競う楽しさや喜びを深く味わえるようことができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・卓球に主体的に取り組むとともに、課題や挑戦することを大切にしようとすることができる。	○ ○	○	○ ○	5
	F　テニス						5
	H 体育理論 【知】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。 【思】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えられるようになる。 【学】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 1　スポーツの発祥と成立 2　スポーツ文化の発展と社会 3　オリンピック・パラリンピックと国際社会 ・教材 新高等保健体育　新高等保健体育ノートプリント ・一人１台端末の活用など	・スポーツがどのように始まり、どのように発展してきたか、理解できる。 ・2024 年パリオリンピック、パラリンピックについて、主体的に取り組み、仲間と協力して調べ学習をすることができる。	○	○	○	3
	期末考査						
3学期	I 持久走 【知】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられるようになる。 【学】長距離走に主体的に取り組むとともにルールやマナーを大切にしようとすること、健康・安全を確保することができるようになる。	・指導事項 550m＊５・７・９周のタイム測定 各自の体力に合った距離・ペースを選択する。	・自分のペースをつかみ、極端なスピード変化をすることなく走り続けることができる。 ・自己の走り方や仲間の走り方を客観的に判断し、課題を他者に伝えることができる。 ・長距離走に主体的に取り組むとともに、健康・安全に留意して参加することができる。	○ ○	○	○ ○	6
	J 球技 【知】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。	・指導事項 選択種目（サッカー・バレーボール・バスケットボール）	・ゲームの方法を理解し、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 ・チームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けての取り組み方を工夫することができる。 ・主体的に取り組み、準備からゲームの進行、片付けまで仲間と協力して行うことができる。	○ ○ ○	○	○ ○	6

	【学】球技に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることができる。						
	H 体育理論 【知】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。 【思】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えられるようになる。 【学】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 4　スポーツの経済効果とスポーツ産業 5　スポーツに求められる高潔さ 6　ドーピングについて ・教材 新高等保健体育　新高等保健体育ノートプリント ・一人１台端末の活用など	・スポーツが経済に及ぼす影響やスポーツ産業における様々な職業を理解することができる。 ・スポーツの価値や役割、スポーツの高潔性を破壊しかねない問題について理解できる。 ・ドーピングがなぜいけないのか、ドーピング技術がさらに高まるとどんな悪影響があるか、仲間と考えることができる。 ・主体的にグループワークに参加し、自分の考えを仲間に伝えることができる。	○ ○ ○	○ ○	○ ○	3
	学年末考査						

作成年月日：令和　６　　年　４　　月　３　　日

総合工科高等学校 令和６年度 ３学年 年間授業計画

教科　保健体育	科目　体育	単位数　３単位	対象学年組　第３学年　１ 組 ～　５組

組教科担当	１組 坂尾・作山・益子・島村	２組 坂尾・作山・益子・島村	３組 坂尾・作山・益子・島村	４組 坂尾・作山・益子・島村	５組 坂尾・作山・益子・島村
使用教科書	保体７０２　新高等保健体育(大修館)				
教科の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次の通り育成することを目指す。				

【 知識及び技能 】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目･内容	評価規準	知	思	学	配当時間
１学期	A 体つくり運動 【知】体を動かす楽しさや心地よさを味わい、実生活に役立てることができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】体つくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすることができる。	・指導事項 ラジオ体操　筋力トレーニング　柔軟体操 体力テスト ・教材 学習カード　評価表	・体を動かすことに興味を持ち、ボディイメージを持ちながらラジオ体操に主体的に取り組むことができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・体力テストに主体的に取り組むことができる。また仲間と協力して、体力テストの準備や片付け、測定をすることができる。	○ ○	○	○ ○	7
	B 種目選択 バレーボール、バドミントン、ソフトボールからの選択 【知】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることができる。	・指導事項 各種目に応じた個人技能　試合の方法 審判法 ・教材 学習カード	・状況に応じたボールやラケット操作ができるようになる。 ・スキルテストを仲間と協力して進めることができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・各種目に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○ ○	○	○ ○ ○	１５
	中間考査						
	C 球技（ハンドボール） 【知】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに	・指導事項 各種目に応じた個人技能　試合の方法 審判法 ・教材 学習カード	・状況に応じたボール操作ができるようになる。 ・スキルテストを仲間と協力して進めることができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。				１０

	継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることができる。		・各種目に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○ ○	○ ○	○ ○	5
	D 球技（サッカー） 【知】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることができる。	・指導事項 各種目に応じた個人技能　試合の方法 審判法 ・教材 学習カード	・状況に応じたボール操作ができるようになる。 ・スキルテストを仲間と協力して進めることができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・各種目に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○ ○	○ ○	○ ○	5
	期末考査						
2学期	E 種目選択 バレーボール、バドミントン、ソフトボールからの選択 【知】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることができる。	・指導事項 各種目に応じた個人技能　試合の方法 審判法 ・教材 学習カード	・状況に応じたボールやラケット操作ができるようになる。 ・スキルテストを仲間と協力して進めることができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・各種目に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○ ○	○ ○	○ ○	2 2 ２４
	中間考査						
	F 球技（バスケットボール） 【知】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることができる。	・指導事項 各種目に応じた個人技能　試合の方法 審判法 ・教材 学習カード	・状況に応じたボール操作ができるようになる。 ・スキルテストを仲間と協力して進めることができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・各種目に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	6
	G 球技（卓球） 【知】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多	・指導事項 各種目に応じた個人技能　試合の方法	・状況に応じたラケット操作ができるようになる。	○		○	6

	様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】球技に主体的に取り組むとともに、フェアプなレイを大切にしようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることができる。	審判法 ・教材 学習カード	・スキルテストを仲間と協力して進めることができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・各種目に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	 ○	○ ○ 	○ ○	
	H 体育理論 【知】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。 【思】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えられるようになる。 【学】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 1　スポーツの発祥と成立 2　スポーツ文化の発展と社会 3　オリンピック・パラリンピックと国際社会 ・教材 新高等保健体育　新高等保健体育ノートプリント ・一人１台端末の活用など	・スポーツがどのように始まり、どのように発展してきたか、理解できる。 ・2024 年パリオリンピック、パラリンピックについて、主体的に取り組み、仲間と協力して調べ学習をすることができる。	○	○	○	3
	期末考査						
3学期	I 種目選択 グループごとに実施種目を決定し、準備･片付け、ゲームの進行を行う。 【知】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】球技に主体的に取り組むとともに、フェアプなレイを大切にしようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることができる。	・指導事項 各種目に応じた個人技能　試合の方法 審判法 ・教材 学習カード	・状況に応じたボールやラケット操作ができるようになる。 ・スキルテストを仲間と協力して進めることができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・各種目に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○	8
	H 体育理論						4
	学年末考査						

作成年月日：令和　6　　年　4　　月　3　　日

総合工科高等学校 令和６年度 ３学年 年間授業計画

教科	保健体育	科目	スポーツⅡα	単位数	４単位	対象学年組	第３学年　１ 組 ～　５組

組教科担当	１組　坂尾	２組　坂尾	３組　坂尾	４組　坂尾	５組　坂尾

使用教科書	保体７０２　新高等保健体育(大修館)
教科の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次の通り育成することを目指す。
【 知識及び技能 】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身につける。	球技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	球技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、強制などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目･内容	評価規準	知	思	学	配当時間
1学期	Ａ硬式野球 【知】体を動かす楽しさや心地よさを味わい、実生活に役立てることができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】体つくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすることができる。	・指導事項 打撃練習 （フリーバッティング・バント・エンドラン） 試合を中心とした実践技術の習得 打撃における戦術・守備時のサインを使用した戦術 試合時における審判法	・状況に応じたバット操作ができるようになる。 ・スキルテストを仲間と協力して進めることができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	２８
	中間考査						
	Ａ硬式野球						３６
	期末考査						
2学期	Ｂ軟式野球 【知】体を動かす楽しさや心地よさを味わい、実生活に役立てることができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】体つくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすることができる。	・指導事項 打撃練習 （フリーバッティング・バント・エンドラン） 試合を中心とした実践技術の習得 打撃における戦術・守備時のサインを使用した戦術 試合時における審判法	・状況に応じたバット操作ができるようになる。 ・スキルテストを仲間と協力して進めることができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○ ○	○ ○	○ ○ ○	２４
	中間考査						
	Ｂ軟式野球 【知】体を動かす楽しさや心地よさを味わい、実生活に役立てることができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題	・指導事項 打撃練習 （フリーバッティング・バント・エンドラン）	・状況に応じたバット操作ができるようになる。 ・スキルテストを仲間と協力して進めることができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。				３６

	を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】体つくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすることができる。	試合を中心とした実践技術の習得 打撃における戦術・守備時のサインを使用した戦術 試合時における審判法	・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすることができる。				
	期末考査						
3学期	Ｂ軟式野球 【知】体を動かす楽しさや心地よさを味わい、実生活に役立てることができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】体つくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすることができる。	・指導事項 打撃練習 （フリーバッティング・バント・エンドラン） 試合を中心とした実践技術の習得 打撃における戦術・守備時のサインを使用した戦術 試合時における審判法	・状況に応じたバット操作ができるようになる。 ・スキルテストを仲間と協力して進めることができる。 ・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすることができる。				１６
	学年末考査						

作成年月日：令和　６　　年　４　　月　３　　日

総合工科高等学校 令和６年度 ３学年 年間授業計画

教科　保健体育	科目　スポーツⅡβ		単位数　２単位	対象学年組　第３学年　１ 組 ～　５組	
組教科担当	１組　益子・島村	２組　益子・島村	３組　益子・島村	４組　益子・島村	５組　益子・島村
使用教科書	保体７０２　新高等保健体育(大修館)				
教科の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次の通り育成することを目指す。				

【 知識及び技能 】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目･内容	評価規準	知	思	学	配当時間
１学期	種目選択 ・バレーボール　・バドミントン ・フットサル　・ソフトボール ・バスケットボール　からの選択 【知】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることができる。	・指導事項 各種目に応じた個人技能・指導能力 試合の方法 審判法 ・教材 学習カード	・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・状況に応じたボール操作ができるようになる。 ・スキルテストを仲間と協力して進めることができる。 ・各種目に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	１４
２学期 ３学期	種目選択 ・バレーボール　・バドミントン ・フットサル　・ソフトボール ・バスケットボール　からの選択 【知】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学】球技に主体的に取り組むとともに、フェアプなレイを大切にしようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることができる。	・指導事項 各種目に応じた個人技能・指導能力 試合の方法 審判法 ・教材 学習カード	・自己の課題や仲間の課題を発見し、伝えることができる。 ・状況に応じたボール操作ができるようになる。 ・スキルテストを仲間と協力して進めることができる。 ・各種目に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	